

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月12日

【四半期会計期間】 第59期第2四半期(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

【会社名】 グローブライド株式会社

【英訳名】 GLOBERIDE, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岸 明彦

【本店の所在の場所】 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号

【電話番号】 042 475 2115

【事務連絡者氏名】 経理部長 谷口 央樹

【最寄りの連絡場所】 東京都東久留米市前沢3丁目14番16号

【電話番号】 042 475 2115

【事務連絡者氏名】 経理部長 谷口 央樹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第58期 第2四半期 連結累計期間	第59期 第2四半期 連結累計期間	第58期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	31,631	35,029	59,460
経常利益	(百万円)	2,610	2,138	2,446
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,864	1,185	1,992
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,813	2,611	3,824
純資産額	(百万円)	7,133	11,645	9,120
総資産額	(百万円)	48,319	56,139	52,917
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	16.21	10.31	17.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	14.8	20.7	17.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,653	3,383	2,793
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	586	1,026	1,851
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	3,222	1,989	200
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	4,115	5,055	4,242

回次		第58期 第2四半期 連結会計期間	第59期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	6.92	5.78

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2 売上高には、消費税等を含んでおりません。
3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、各期とも潜在株式がないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。
また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、下記の本文中の掲載金額には消費税等は含まれておりません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、5年ぶりの円安・株高を背景として、輸出産業を中心に景況感の改善が広がりましたが、海外では、中国など一部に復調の兆しがありましたものの、欧州のソブリン・リスクや米国財政問題など、構造的な課題は未解決のままであり、総じて、引き続き先行き不透明な情勢が続いております。

当社グループの属するスポーツ・レジャー用品等の業界も、国内及びアジア地域等の一部で回復傾向が見られるものの、世界全体では依然足取りの重い状態が続いております。

このような市場環境の中で、当社グループは、成長路線への復帰をより確かなものとするために、魅力ある新製品の投入やマーケティング力の強化に注力してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間においては、連結売上高は350億2千9百万円（前年同四半期比10.7%増）と増収になりました。一方利益面では、大幅な円安の進行による輸入コストの上昇や売上増大を図るための積極的な販売促進活動等を行ったことにより、営業利益は24億5千7百万円（前年同四半期比15.6%減）、経常利益は21億3千8百万円（前年同四半期比18.1%減）、四半期純利益は11億8千5百万円（前年同四半期比36.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

日本

国内経済は、景気回復策への期待感から円安や株高を背景に景況感が改善しつつありますが、個人消費の本格的な回復までには至らない状況が続きました。このような状況の中、優れた機能を搭載した新製品を投入すると共に、拡販活動を強力に推進しました結果、売上高は288億5千万円（前年同四半期比8.2%増）、セグメント利益は29億9百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

米州

米州経済は、緩やかに回復しているものの、寒波によるシーズン・インの遅れもあり、消費市場は不安定な状況が続いております。このような中、市場にマッチした製品の投入と積極的なマーケティング活動を展開しました結果、売上高は16億1千7百万円（前年同四半期比15.3%増）、セグメント利益は4千9百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。

欧州

欧州経済は、財政問題の長期化により不安定な状況から、個人消費の低迷が続いております。このような市場環境の中で、製品ラインナップの充実と積極的な拡販に注力した結果、売上高は38億7千9百万円（前年同四半期比19.8%増）、セグメント利益は3億3百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

アジア・オセアニア

アジア・オセアニア経済は、景気拡大のテンポが緩慢な状態が続いており、個人消費の伸びも低下傾向が続いております。このような状況の中、積極的な営業活動を行い、また、ダイワ・スポーツ（広州）Co., リミテッドを連結子会社に加えたこともあり、売上高は54億7千1百万円（前年同四半期比17.1%増）、セグメント利益は4千万円（前年同四半期比86.4%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億1千3百万円増加し、50億5千5百万円（前連結会計年度末は、42億4千2百万円）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を21億3千6百万円計上したことや仕入債務が増加したこと等により、33億8千3百万円の収入（前年同四半期は46億5千3百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新製品生産用金型投資等を行ったことから、10億2千6百万円の支出（前年同四半期は5億8千6百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金を返済したこと等により、19億8千9百万円の支出（前年同四半期は32億2千2百万円の支出）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は5億5千万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	293,366,000
計	293,366,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	120,000,000	120,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株であります。
計	120,000,000	120,000,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年9月30日		120,000,000		4,184		

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町1丁目4-2	5,893	4.91
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	5,626	4.68
住友生命保険相互会社	東京都中央区築地7丁目18-24	4,573	3.81
グロースライド取引先持株会	東京都東久留米市前沢3丁目14-16	3,595	2.99
グロースライド従業員持株会	東京都東久留米市前沢3丁目14-16	3,534	2.94
メガバス株式会社	静岡県浜松市東区西ヶ崎町1590-1	2,972	2.47
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	2,649	2.20
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	2,497	2.08
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1丁目3-3	2,168	1.80
朝日インテック株式会社	愛知県名古屋守山区脇田町1703	2,027	1.68
計		35,536	29.61

(注) 当社は自己株式5,000千株を所有しており、上記大株主から除外しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,000,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 114,007,000	114,007	-
単元未満株式	普通株式 993,000	-	-
発行済株式総数	120,000,000	-	-
総株主の議決権	-	114,007	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式714株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) グロースライド株式会社	東京都東久留米市前沢 3丁目14-16	5,000,000	-	5,000,000	4.16
計	-	5,000,000	-	5,000,000	4.16

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,801	5,152
受取手形及び売掛金	8,921	8,681
商品及び製品	14,144	15,542
仕掛品	1,238	1,334
原材料及び貯蔵品	1,532	1,635
その他	1,656	1,868
貸倒引当金	259	274
流動資産合計	32,035	33,940
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,462	5,476
その他(純額)	7,186	7,913
有形固定資産合計	12,648	13,390
無形固定資産		
のれん	1,716	1,618
その他	876	1,091
無形固定資産合計	2,593	2,709
投資その他の資産		
投資有価証券	3,324	3,777
その他	2,377	2,381
貸倒引当金	60	59
投資その他の資産合計	5,640	6,098
固定資産合計	20,881	22,198
資産合計	52,917	56,139

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,196	9,078
短期借入金	15,106	12,460
未払法人税等	740	143
売上割戻引当金	86	322
返品調整引当金	220	167
ポイント引当金	249	229
賞与引当金	485	536
役員賞与引当金	16	8
その他	2,922	3,559
流動負債合計	27,025	26,505
固定負債		
社債	90	-
長期借入金	9,334	10,653
退職給付引当金	5,421	5,476
役員退職慰労引当金	55	3
その他	1,870	1,856
固定負債合計	16,771	17,988
負債合計	43,797	44,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,184	4,184
利益剰余金	6,873	7,949
自己株式	867	846
株主資本合計	10,189	11,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,285	1,553
繰延ヘッジ損益	5	1
土地再評価差額金	983	983
為替換算調整勘定	3,344	2,180
その他の包括利益累計額合計	1,068	357
純資産合計	9,120	11,645
負債純資産合計	52,917	56,139

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	31,631	35,029
売上原価	18,428	21,501
売上総利益	13,203	13,528
販売費及び一般管理費	10,290	11,070
営業利益	2,913	2,457
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	49	34
不動産賃貸料	59	64
為替差益	-	52
その他	220	157
営業外収益合計	335	317
営業外費用		
支払利息	219	190
売上割引	296	350
為替差損	51	-
その他	70	95
営業外費用合計	638	636
経常利益	2,610	2,138
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	2	1
減損損失	-	1
投資有価証券評価損	31	-
その他	5	1
特別損失合計	38	3
税金等調整前四半期純利益	2,571	2,136
法人税、住民税及び事業税	707	951
少数株主損益調整前四半期純利益	1,864	1,185
四半期純利益	1,864	1,185

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,864	1,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	267
繰延ヘッジ損益	20	4
為替換算調整勘定	15	1,163
その他の包括利益合計	50	1,426
四半期包括利益	1,813	2,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,813	2,611
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,571	2,136
減価償却費	691	738
のれん償却額	97	97
ポイント引当金の増減額(は減少)	6	20
返品調整引当金の増減額(は減少)	116	52
貸倒引当金の増減額(は減少)	31	0
売上割戻引当金の増減額(は減少)	92	227
賞与引当金の増減額(は減少)	17	50
役員賞与引当金の増減額(は減少)	7	8
退職給付引当金の増減額(は減少)	119	38
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	174	51
受取利息及び受取配当金	54	42
支払利息	219	190
為替差損益(は益)	7	2
有形固定資産売却損益(は益)	0	2
有形固定資産除却損	21	11
売上債権の増減額(は増加)	1,118	601
たな卸資産の増減額(は増加)	1,109	849
その他の流動資産の増減額(は増加)	349	180
仕入債務の増減額(は減少)	1,338	1,709
未払金の増減額(は減少)	609	317
その他の流動負債の増減額(は減少)	72	53
預り保証金の増減額(は減少)	7	0
その他の営業外損益(は益)	61	66
その他	239	64
小計	4,843	4,201
利息及び配当金の受取額	54	44
利息の支払額	220	195
法人税等の還付額	65	44
法人税等の支払額	149	776
その他の収入	59	64
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,653	3,383

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	49	44
定期預金の払戻による収入	14	568
有形固定資産の取得による支出	447	1,028
有形固定資産の売却による収入	8	8
無形固定資産の取得による支出	96	312
投資有価証券の取得による支出	-	100
貸付けによる支出	5	-
貸付金の回収による収入	9	5
その他	18	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	586	1,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	29,276	52,609
短期借入金の返済による支出	28,668	55,270
長期借入れによる収入	100	4,750
長期借入金の返済による支出	3,515	3,615
社債の償還による支出	120	120
自己株式の取得による支出	0	1
自己株式の売却による収入	0	22
配当金の支払額	285	342
その他	9	22
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,222	1,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	258
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	836	625
現金及び現金同等物の期首残高	3,168	4,242
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	110	187
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,115	5,055

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、重要性が増したダイワ・スポーツ(広州)Co.,リミテッドを連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、トンガン・ダイワ・スポーツングッズ・リミテッドが事業を開始したことにより、同社を連結の範囲に加えております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 従業員給料手当 3,075百万円 貸倒引当金繰入額 61百万円 賞与引当金繰入額 322百万円 退職給付費用 203百万円 役員賞与引当金繰入額 7百万円 役員退職慰労引当金繰入額 5百万円	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 従業員給料手当 3,385百万円 貸倒引当金繰入額 13百万円 賞与引当金繰入額 354百万円 退職給付費用 221百万円 役員賞与引当金繰入額 8百万円 役員退職慰労引当金繰入額 5百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年9月30日現在) 現金及び預金勘定 4,164百万円 預入期間が3ヶ月超の定期預金 49百万円 現金及び現金同等物 4,115百万円	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成25年9月30日現在) 現金及び預金勘定 5,152百万円 預入期間が3ヶ月超の定期預金 96百万円 現金及び現金同等物 5,055百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	287	2.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	345	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
外部顧客への売上高	25,608	1,379	3,232	1,411	31,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,044	23	4	3,262	4,335
計	26,653	1,402	3,237	4,674	35,967
セグメント利益	3,191	42	265	295	3,794

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,794
全社費用(注)	881
四半期連結損益計算書の営業利益	2,913

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
外部顧客への売上高	27,628	1,599	3,879	1,921	35,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,221	18	0	3,550	4,789
計	28,850	1,617	3,879	5,471	39,819
セグメント利益	2,909	49	303	40	3,301

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,301
全社費用(注)	843
四半期連結損益計算書の営業利益	2,457

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円21銭	10円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,864	1,185
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,864	1,185
普通株式の期中平均株式数(株)	115,020,575	114,977,450

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

グロープライド株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	岡	本	和	巳
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中	川	政	人

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているグロープライド株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、グロープライド株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。